

平成24年度事業報告書

事業の概要

平成24年度は、当該年度事業計画の活動指針に沿って、教育・学術・文化の振興のための各種事業の実施に努めるとともに、6月開催の定時社員総会において、一般社団法人移行に向けた定款の全面改正を行った。

計画していた各種事業については、第18回陝西省大学生日本語弁論大会及び第7回日本語教育セミナーの開催が、尖閣諸島の領土問題に伴う日中関係の悪化により、平成23年度に引き続いての延期となった。

一方、平成10年の授賞制度改正以降、15回目を迎えた平成24年度アカデミア賞表彰事業は、会員から推薦のあった多数の候補者について慎重に選考を重ねた結果、文化、文化・社会及び国際の各部門それぞれに1名の受賞者が得られた。授賞式は、多くの会員の協賛のもとに盛大にかつ好評裡に催され、その模様は、会誌アカデミアNo.138 20013. 2月号に掲載されている。

また、年6回、隔月発行の会誌アカデミアは、一昨年の中日本大震災及び福島原発事故を契機として環境問題に焦点をあて、平成24年2月号「放射能と人・食・環境」を皮切りとして、平成24年度に入り、6月、8月号は「持続可能な社会の実現に向けて」Part 1・Part 2、10月、12月号を「日本農業は持続可能か」Part 1・Part 2として、学外関係者の協力を得て、滞りなく刊行し、会員各位に配付した。

なお、平成24年度から実施した「アカデミア教育研究助成事業」については、応募要項を作成し、会員のほか、各都道府県及び政令指定都市の各教育委員会、並びに関係大学等へ送付し周知を図るとともに、本会HPにも掲載するなどの広報にも務めたが、新規事業のため知名度が低かったためか応募が得られず、助成に至らなかった。

これら事業の実施に当たっては、当初に見込んでいた会全体の収入が想定以上に減少したこともあり、予算面で厳しい状況となった。平成25年度も厳しい財政状況が見込まれることから、事業の見直しを含めた一層の経費節減が望まれる。

主な公益事業

1. 教育・学術及び文化の振興のための表彰及び助成

1) 文化・社会及び国際交流に著しく貢献した人材に対するアカデミア賞の授与

平成25年2月8日(金) 京都・新都ホテルにおいて、平成24年度アカデミア賞授賞式が挙行政され、森田嘉一会長より、次の各氏に対し、アカデミア賞が授与された。

今年度の受賞者は、スポーツ界から初の受賞者が得られるなど、多彩な顔ぶれとなった。

【文化部門】

受賞者：中村桂子氏 JT生命誌研究館 館長

受賞理由：多様な生物に受け継がれている生命の歴史を読み取る「生命誌」の提唱をはじめ、生命科学における顕著な業績、並びに生命科学の発展に寄与した数々の功績

【文化・社会部門】

受賞者：木津川 計氏 雑誌『上方芸能』発行人

受賞理由：多年、上方芸能及び上方文化の普及と振興をはじめとする数々の功績

【国際部門】

受賞者：小倉純二氏 (公財)日本サッカー協会 名誉会長

受賞理由：日本サッカー界の興隆と世界的な地位向上及び世界のサッカーの発展並びにサッカーを通じた国際貢献に努めた功績

2) 我国の初等・中等及び高等教育の振興のためのアカデミア教育研究助成事業の実施

教育の振興を促進するため、わが国の初等・中等及び高等教育の現場において、日々、教育改善を実践している教員を支援するため、平成24年度を第1回とする「アカデミア教育研究助成事業」を実施した。しかしながら、個人、団体及びグループとも応募が得られず、助成するに至らなかった。

【参考】

①応募資格

日本の小学校、中学校、高等学校及び大学における教育改善の研究に携わり、その研究に基づき、自らが教育現場で教育改善を実践し、顕著な教育効果を挙げていると認められる教員、教員グループ及び団体とする。

②助成額

総額200万円以内

- ・個人研究 5万円～10万円
- ・グループ・団体研究 10万円～20万円

③募集期間

平成24年6月1日～平成24年9月30日

④応募要領送付先

- ・各都道府県及び政令指定都市の教育委員会
- ・関係する大学等の教育機関

2. 教育・学術及び文化に関する国際交流の推進

- 1) 「第18回陝西省大学生日本語弁論大会」及び「第7回日本語教育セミナーin 西安」の開催

平成24年度に実施を予定していた「第18回陝西省大学生日本語弁論大会」及び「第7回日本語教育セミナーin 西安」は、尖閣諸島の領土問題に端を発する日中関係の急激な悪化に伴い、陝西教育国際交流協会から、安全が保障できないため今年度は中止、来年度へ延期したい旨の申し出があり、昨年度に引き続いての中止となった。

この2年続けての中止に対し、森田会長の意を受けて本会関係者が中国西安市へ赴き、10月22日（月）西安金花大酒店にて陝西教育国際交流協会関係者との協議を行った結果、中国側の意向は、長年培ってきた信頼と日中友好、さらには学生の勉学意欲においても本事業を重要な事業と捉えており、強く継続を希望していること、また、有効期限が2011年12月で切れている本会と陝西教育国際交流協会が締結した「中国陝西省大学生日本語弁論大会共催に関する協議覚書」についても、更新を希望していることが確認された。

「陝西教育国際交流協会関係者」

名誉会長	孫	天	義
会 長	戴	居	仁
副 会 長	饒	篤	鈞
秘 書 長	孫	建	寧

「全国日本学士会関係者」

森田会長代理	川	口	榮	一	（京都外国語大学教授）
事務局員	岡	田	和	男	

3. 教育、学術、文化に関する講演会の開催

1) 本部事業

①平成24年度定時社員総会講演会

日 時：平成24年6月15日（金）

会 場：新都ホテル

講 師：内藤正明氏 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター長

演 題：「持続可能社会をどう描き、どう実現するか」

②平成24年度アカデミア賞受賞記念講演

日 時：平成25年2月8日（金）

会 場：新都ホテル

講 師：中村桂子氏 JT生命誌研究館 館長

演 題：「生命誌の20年とこれから」

講 師：木津川 計氏 雑誌『上方芸能』発行人

演 題：「大阪と京都の格」

講 師：小倉純二氏 （公財）日本サッカー協会 名誉会長

演 題：「サッカーボールに国境はない」

2) 支部事業

沖縄支部夏季講演会

日 時：平成24年9月15日（土）

場 所：てだこホール（浦添市）

講 師：山室隆夫氏 （財）生産開発科学研究所理事長

（社）全国日本学士会副会長

演 題：「不老長寿を考える」

その他の事業

1. 機関誌の発行

『会誌アカデミア』の発行

第133号 平成24年4月27日発行

特集「平成23年度アカデミア賞」

書評 山室隆夫著「不老長寿を考える」

第134号 平成24年6月30日発行

特集「持続可能な社会の実現に向けて PART 1」

第135号 平成24年8月10日発行

特集「「持続可能な社会の実現に向けて PART 2」

第136号 平成24年10月31日発行

特集「日本農業は持続可能か Part 1」

第137号 平成24年12月27日発行

特集「日本農業は持続可能か Part 2」

第138号 平成25年3月5日発行

特集「平成24年度アカデミア賞」

2. 役員会等開催

①第1回理事会・評議員会	平成24年 6月15日(13:00～13:50)
②定時社員総会	平成24年 6月15日(14:00～15:00)
④第2回理事会	平成24年 11月 5日(15:00～17:00)
⑤第3回理事会	平成25年 3月14日(14:00～16:00)
⑤第4回理事会	平成25年 3月29日(14:00～16:00)